

# 東南村山からおいしさを極める！ おいしい米づくり情報

第 7 号 穂 肥 編

発行：令和3年7月2日発行  
山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト村山地域本部  
村山総合支庁農業技術普及課  
(TEL:023-621-8295)

## 生育に合わせて 適期・適量の穂肥を実施！

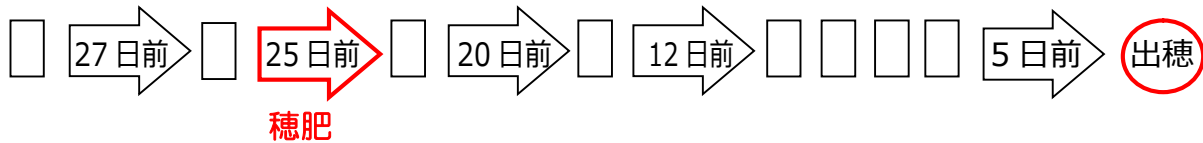
葉色の生育量に応じて穂肥の「時期」や「量」を加減して、良食味・高品質米を安定して生産しましょう。

### ●効果的な穂肥時期

- ・穂肥の効果を最大限に引き出すには、施用タイミングが重要です。化成肥料を施用する場合、出穂の約 25 日前を目安に穂肥を行いましょう。(はえぬき・雪若丸)

幼穂形成期：

1 次枝梗分化 2 次枝梗分化 穎花分化期 花粉形成(減数分裂期)



- ・出穂間際の穂肥は、玄米粗タンパク質含有率を高めて食味を低下するため、行いません。
- ・出穂 30 日以前の追肥（化成肥料）は、稲の分けつを促しますが増収効果は高くありません。

### 《品種毎の穂肥時期・量の目安(N成分 kg(上限)/10a)》

地域・品種	出穂予測	出穂 30 日前	出穂 25 日前	出穂 20 日前	出穂 15 日前	
平坦	ひとめぼれ	8月2~4日	-	-	7月13-15日 1.5kg	-
	はえぬき	8月3~5日	-	7月9-11日 2.0kg	-	-
	雪若丸	8月2~4日	-	7月8-10日 1.5kg	-	-
	つや姫	8月8~10日	7月9-11日 1.5kg	(有機入り化成肥料を使用する場合)		
	コシヒカリ	8月8~10日	-	-	-	7月19-26日 1.5kg
中山間	あきたこまち	7月31日~ 8月4日	-	-	7月11-15日 2.0kg	-

- ・葉色が濃い圃場は減肥対応とし、玄米粗タンパク質含有率の上昇を防ぎましょう。
- ・雪若丸に補完追肥を行った圃場は、施用した窒素分を穂肥窒素量から減肥しましょう。

## ●中干し～出穂期までの水管理～

- ・中干し終了直後は飽水管理、その後、徐々に<sup>※</sup>間断灌水に移行し、出穂期まで続きます。間断灌水は「うわ根」の伸長を促し、穂肥窒素の利用効率を高める効果があります。
- ※2～3日で自然落水する程度の湛水と、自然落水後に再び湛水を繰り返す水管理のこと

一発肥料を施用した圃場は「中干し」で生育量を調整します。茎数が多い圃場や葉色が濃い圃場では、「やや強めの中干し」で生育の制御を行いましょう。

## ●斑点米カメムシ類対策

- ・斑点米カメムシ類の発生は平年より**やや多い**と予想されています。
- ・カメムシ類による被害を出さないために、雑草管理を徹底しましょう。

① 畦畔と圃場周辺の草刈り、除草剤散布を行い、発生源をなくしましょう！

② 出穂間近の草刈りは、カメムシ類を水田に追い込んでしまうので、  
出穂2週間前頃には終了しましょう。

**(草刈り強化期間 7月17日～20日)**

③ 水田内にカメムシ類の餌となるヒエ、  
ホタルイ等が生えている場合は、早くから  
水田内に入り増殖します。

**水田内にヒエ、ホタルイ等が残っている  
場合は、雑草対策を徹底しましょう！**



## ●いもち病対策

- ・葉いもちの発生が確認されております。  
今後も葉いもちの感染に好適な気象の予報です。  
圃場をよく見回り、  
**早期発見、早期防除**を徹底しましょう！



葉いもちの病斑

**「熱中症」に要注意！暑い日が続く予報です！**

こまめな“休憩”、こまめな“水分補給”で「熱中症」を防止しましょう！